



平成 29 年 9 月 7 日

## 国道 231 号 船場公園前でオープンカフェ開催！（全道初\*）

～道路協力団体が「道（みち）」の新たな可能性を創出します～

道路協力団体である萌える天北オロロンルート運営代表者会議が主催するオープンカフェ「BYWAY CAFE」が国道 231 号の歩道上で開催されます。

普段何気なく通り過ぎる「道」でちょっと立ち止まり、「道」から見える景色を楽しみながら、コーヒーで一息入れてみませんか。新しい気付きが生まれるかもしれません。

なお、本オープンカフェで得られた収益は、同団体の活動として行う道路の維持管理に還元され、除草や清掃のために使用されます。

また、同団体では「道」の可能性を求めてさらなる企画を検討中です。これからの取り組みにもご注目ください。

※昨年末に道路協力団体に指定された 6 団体の一つ「萌える天北オロロンルート運営代表者会議」が、北海道で道路協力団体の活動としては初めて国道の敷地を活用した収益活動を行います。

開催日時 平成 29 年 9 月 9 日（土）10：00 から 15：00 まで

開催場所 国道 231 号船場公園前（留萌市船場町 2 丁目付近）

販売内容 コーヒー（ホット・アイス）、紅茶（ホット・アイス）、ジュース

主 催 萌える天北オロロンルート運営代表者会議（道路協力団体）

- ・オープンカフェ、道路協力団体の概要については、参考資料をご覧ください。
- ・同日に、留萌開発建設部が主催するサイクルイベント「留萌自転車体験会」が船場公園で開催されます。あわせてお楽しみください。

【問合せ先】 国土交通省 北海道開発局 留萌開発建設部 電話 0164-42-4526  
特定道路事業対策官 鵜束 俊哉（内線 359）  
道路計画課 課 長 瀬能 博之（内線 351）  
留萌開発建設部ホームページ <http://www.hkd.mlit.go.jp/rm/>



# オープンカフェ「BYWAY CAFE」の概要

- 主催** 道路協力団体（萌える天北オロロンルート運営代表者会議）
- 協力** 留萌開発建設部、シーニックバイウェイ支援センター
- 目的** 国土交通省における「道路協力団体制度」に基づき、道路空間を活用して、試験的なオープンカフェを開催し、道路空間を活用した賑わいの創出や良好な景観の形成など快適な空間づくりを通じて地域の価値・魅力の向上を図ります。
- 内容** 船場公園前の国道231号の歩道において、テラスパラソル、テーブル、椅子を配置して、留萌の資源である港を見ながらゆったりとした時間を過ごせるオープンカフェを開催します。
- 販売商品** コーヒー（ホット・アイス）、紅茶（ホット・アイス）、ジュース
- 開催日時** 平成29年9月9日（土）10～15時



テラスパラソル

テラスパラソル3基、椅子12脚を国道の歩道に設置します。



テーブルから見る留萌港の様子

## 道路協力団体とは

道路における身近な課題の解消や、道路利用者のニーズへのきめ細やかな対応などの業務に自発的に取り組む民間団体等を支援する「道路協力団体制度」。この制度に同意し、希望する法人等が道路管理者の審査を受け、指定された団体が「道路協力団体」です。北海道では平成28年12月27日に第1回目指定が行われ、6団体が指定を受けました。

### 目的

道路管理者と連携して業務を行う団体として法律上位置づけることにより、自発的な業務への取組を促進し、地域の実情に応じた道路管理の充実を図ろうとするものです。

### 特徴

- ・業務を行うにあたり物件等の道路占用が必要な場合、手続きが円滑・柔軟化されます。
- ・道路空間を活用した収益活動が可能です。その収益は道路の管理に還元頂きます。

道路協力団体の具体的な業務等詳細は

【道路協力団体HP】 <http://www.mlit.go.jp/road/kyoryokudantai/index.html> をご覧ください。